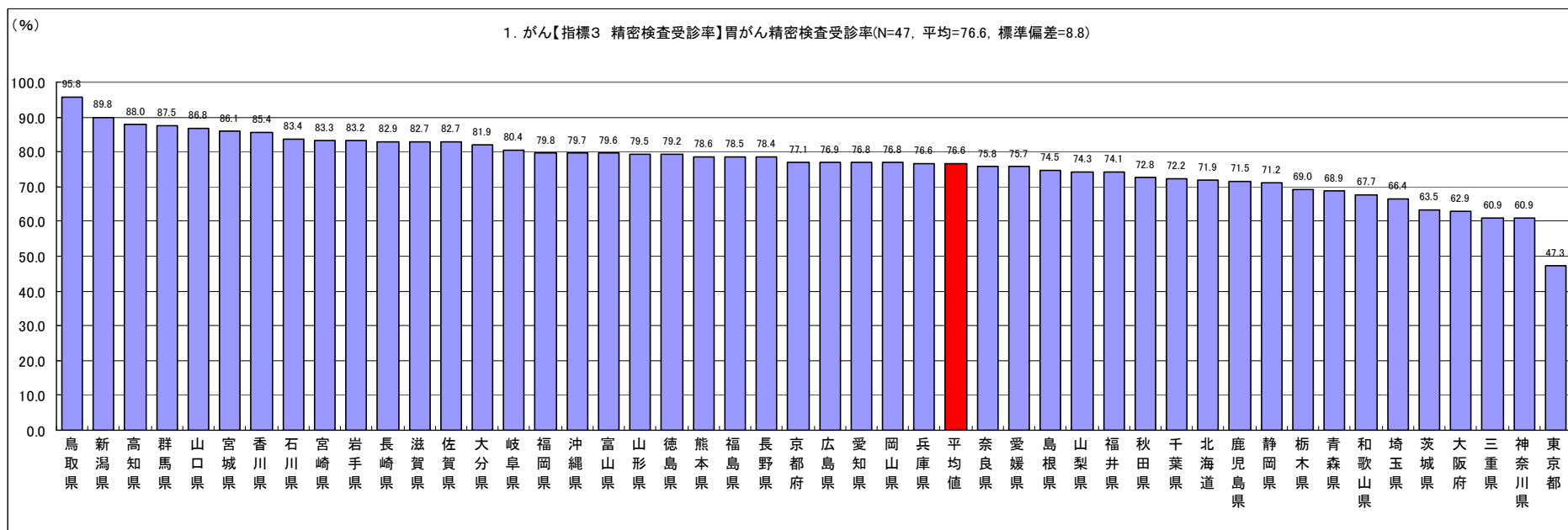
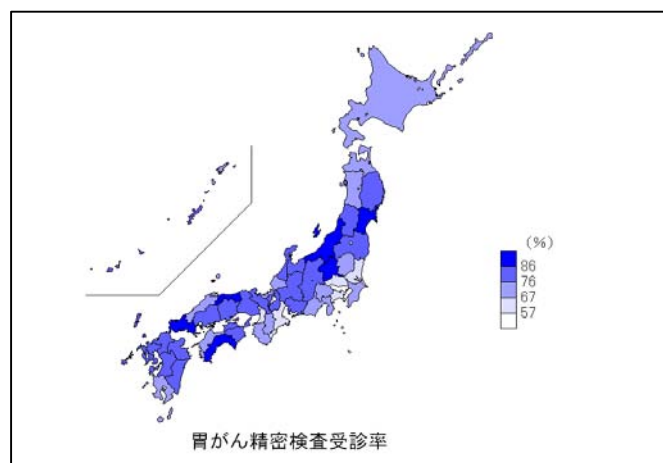


・ がん-3 精密検査受診率



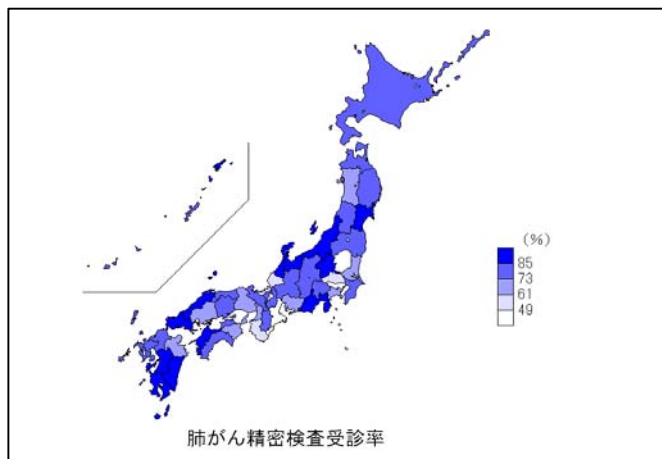
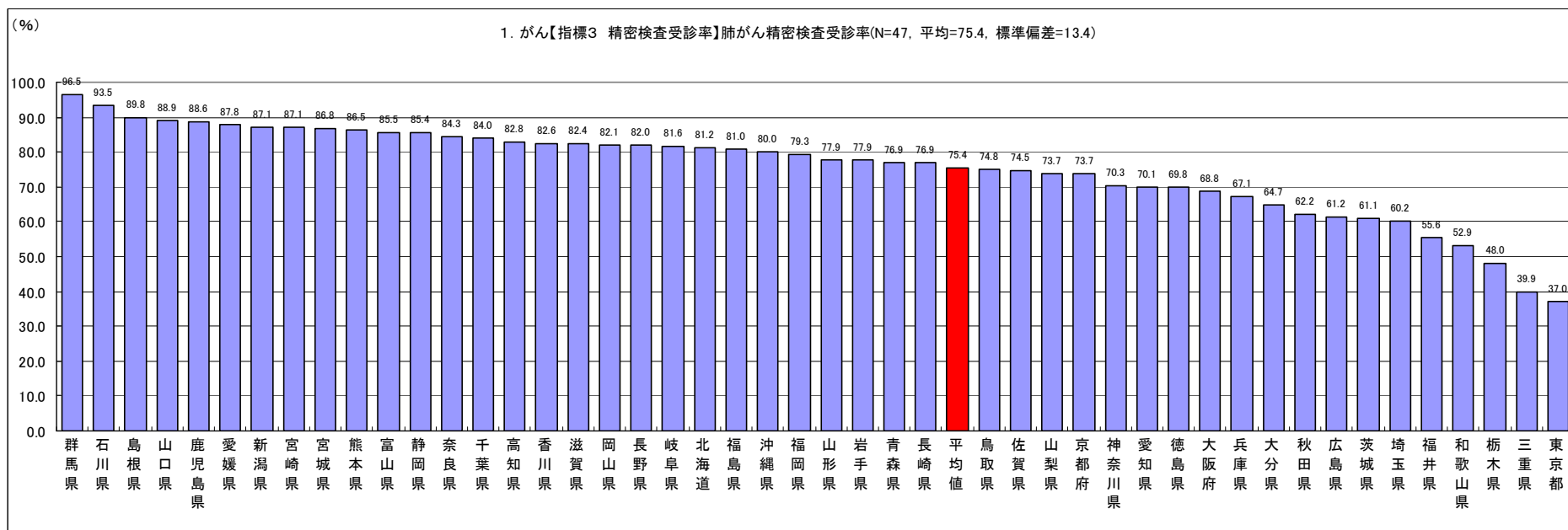
14



- ・ 「どのくらい関心があるか」を見るための指標として用いています。
- ・ 鳥取県が最も高く、東京都が最も低い結果です。平均値は76.6、標準偏差は8.8です。
- ・ 地域的な傾向は見られませんが、東京都が特に低くなっています。

■都道府県からの意見■

- ・ 要精検者は、自分の健康に関心を持たざるを得ない状況にある人であり、精検受診者を「関心がある人」とは見なされないのではないかと。精検結果「未把握」の者が「関心がない人」とみなされ、実態を反映しないのではないかと。



- ・ 群馬県が最も高く、東京都が最も低い結果です。平均値は75.4、標準偏差は13.4です。
- ・ 地域的な傾向は見られませんが、三重県、東京都が特に低くなっています。

■都道府県からの意見■

- ・ ①X線のみ、②喀痰のみ、③X線及び喀痰があり、国のがん検診指針において、喀痰細胞診は、問診の結果、ハイリスクであった者にX線と併せ、実施するものとされている。記入要領の定義では、ハイリスクでない一般の受診者が含まれないため、肺がん検診受診者のごく一部の状況を表したものに過ぎない。そのため①～③の合計を指標とすべきである。それともハイリスク者にこだわる理由があるのか。